

研究課題名	白内障手術併用緑内障ドレーン挿入術と白内障手術併用 ab interno 線維柱帯切開術の手術成績の比較
研究責任者名	広島大学病院 眼科 診療教授 廣岡一行
研究期間	実施許可日 ~ 2024年3月31日
対象者	2020年10月から2022年7月の間に、広島大学病院、愛媛大学医学部付属病院、南松山病院、草津眼科クリニックで白内障手術併用緑内障ドレーン挿入術と白内障手術併用 ab interno 線維柱帯切開術の手術による治療を受けられた患者さん
意義・目的	緑内障の治療は眼圧を下げることです。その方法として、手術治療は点眼治療とともに緑内障治療の重要な選択肢のひとつです。近年、眼内からのアプローチで行う低侵襲緑内障手術が普及し、より負担の少ない緑内障手術が可能になっています。そのうちの緑内障ドレーン挿入術は第二世代の器械が登場しました。もう一つの低侵襲緑内障手術として眼内法線維柱帯切開術があります。どちらも確立された安全な術式ではありますが、この2つの術後経過の違いは明らかになっていません。2つの術式の違いを調査し、より適切な術式選択につなげることがこの研究の目的です。
方法	<p>本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。カルテから使用する内容は年齢、性別、視力、眼圧、点眼内容、角膜厚、眼軸長、手術合併症です。取得した情報は氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p> <p>上述のように誰のものか分からないように加工された情報を、愛媛大学医学部付属病院、南松山病院、草津眼科クリニックから提供され、広島大学病院で解析します。</p>
研究の実施体制	<p>研究代表者 広島大学病院 眼科 診療教授 廣岡一行</p> <p>共同研究機関（研究責任者、機関長） 愛媛大学医学部付属病院 眼科 溝上志朗 杉山隆 南松山病院 眼科 細川寛子 谷水正人 草津眼科クリニック 望月英毅、望月英毅</p>
試料・情報の管理責任者	広島大学病院 眼科 診療教授 廣岡一行
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5247

広島大学病院眼科 准教授 廣岡 一行